

カリキュラム概要

専門教育科目 (96 単位)

分野		要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
リテラシー科目	情報リテラシー	4単位	情報リテラシーⅠ・Ⅱ 各②			
		* (注3)	プログラミングⅠ・Ⅱ、データベース 各②			
	言語リテラシー	14単位	コミュニケーション英語Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb 各①、日本語表現法Ⅰ②			
		* (注3)	日本語表現法Ⅱ②			
			イングリッシュ・プロジェクトⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
	リサーチリテラシー	6単位	社会調査論Ⅰ②			
	* (注3)	社会統計学Ⅰ、データ分析Ⅰ 各②				
プランニングリテラシー	2単位	ロジカルシンキングⅠ・Ⅱ、問題解決技法、プランニング論、ファシリテーション、空間デザイン 各②				
	* (注3)	社会調査論Ⅱ、社会統計学Ⅱ、データ分析Ⅱ 各②				
基盤科目		8単位	総合政策概論②			
			政策規範論、政策過程論、政策評価論 各②			
		14単位	政治学基礎、経済学基礎、国際関係学基礎、社会学基礎、情報科学基礎、人間科学基礎 各②			
	(注4)	法学入門、環境学入門、グローバルイゼーション論、生命論 各②				
			日本現代史、世界現代史、組織意思決定、数理意思決定 各②			
展開科目	政治・行政クラスター	24単位	政治理論、政治過程論、日本政治論、比較政治論、現代行政論、日本行政論、地方自治論、地域政策、合意形成論、NPO・NGO論 各②			
	経済・環境クラスター		経済政策、財政学Ⅰ・Ⅱ、金融論Ⅰ・Ⅱ、環境政策、環境評価論、環境マネジメント論、環境共生論、国際環境論 各②			
	国際クラスター		国際関係学、国際関係論、国際安全保障論、外交政策、国際機構論、人間の安全保障論、国際開発論、国際協力論、国際政治経済論、国際社会論 各②			
	社会・文化クラスター		表象文化論、多文化共生社会論、コミュニティ論、社会政策、機会均等論、格差社会論、男女共生社会論、生涯学習社会論、現代教育論、教育政策 各②			
	情報・メディアクラスター		情報法、情報倫理、情報社会論、マスメディア論、コミュニケーション論、情報システム論、情報ネットワーク論、情報インタフェース論、マルチメディア論、情報産業論 各②			
	人間科学クラスター		生涯発達心理学、青年心理学、人格心理学、メンタルヘルス論、社会心理学、対人認知論、心理診断法、行動科学、生命健康科学、生態学 各②			
	総合領域		総合政策a・b・c・d・e・f 各②			
リサーチ・プロジェクト		16単位	リサーチ・プロジェクトⅠa・Ⅰb 各②			
			リサーチ・プロジェクトⅡa・Ⅱb 各②			
			リサーチ・プロジェクトⅢa・Ⅲb 各②			
			リサーチ・プロジェクトⅣa・Ⅳb 各②			

(注3) [*]の中より8単位選択して修得する必要がある。

(注4) 8単位まで「基盤科目」に算入される。「基盤科目」が22単位を超えた場合、「グレーゾーン」に算入される。

自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

		1年次	2年次	3年次	4年次
自由選択科目	卒業要件に算入しない	キャリア・デザイン②			
		※サービスマーケティング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、地域連携学A・B・C・D 各②			
		長期インターンシップ④			

(※詳細についてはP.54・55を参照)

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

カリキュラム概要

健康科学科の卒業要件単位について

卒業するためには「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目	+	専門教育科目 (専門選択科目を除く)	+	グレーゾーン	=	卒業要件単位 128 単位
24 単位		92 単位		12 単位		

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
 - ・○は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
 - ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。
- 履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。**

教養教育科目 (24 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	20単位	人文系	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②			
		社会系	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		自然系	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ、情報科学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		主題系	情報科学Ⅲ・Ⅳ 各② 仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ 各②			
外国語科目	英語(注1)	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb、英語Ⅰc・Ⅱc 各①			
	エレクトティブ		英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各① 英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各① ドイツ語Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各① 中国語Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、 韓国語Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、 スペイン語(注2)Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、 会話Ⅰ・Ⅱ 各①			
健康総合科学科目			スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各① スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各①			
海外事情科目			海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①			
合計	24単位		※ 「教養教育科目」において、24単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 (注1) 外国人留学生の外国語科目の履修はP.42参照 (注2) スペイン語はⅠ(基礎)、Ⅱ(基礎)のみ開講			

グレーゾーン (12 単位)

分野	要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次	
						1年次
グレーゾーン	専門選択科目	プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ 各②、手話② 健康キャリア論、インターンシップ、人格心理学、心理学研究法、手話演習 各② 海外健康・スポーツ論、心身科学特論 各②				
	その他	【グレーゾーンに算入される単位】 ・「教養教育科目」の要件24単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件92単位を超えて修得した科目の単位 「他学部・他学科科目」で修得した単位(18単位まで修得可) ※ グレーゾーンの要件12単位を超えた場合、6単位まで④「専門展開科目」に算入される。				

カリキュラム概要

専門教育科目 (92単位)

分野	要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	12単位	健康医学入門(医学総論を含む)、健康心理学入門、健康スポーツ科学入門、健康脳科学入門、プレセミナーⅠ・Ⅱ 各②			
専門基幹科目	24単位以上	解剖学、学校保健(学校安全等を含む)、生理学 各②			
		衛生学・公衆衛生学、学習・認知心理学、救急・応急処置、健康医学(内科学を含む)、健康統計学、言語学、生涯発達心理学、健康スポーツ栄養学、健康スポーツ心理学、精神医学・精神保健、病理学、分子遺伝学、リハビリテーション医学 各② 社会福祉・教育(社会保障制度、リハビリテーション概論及び医療福祉教育・関係法規を含む)、小児科学、ストレス科学論、生活習慣病論、救急・応急処置演習 各②			
健康開発科学科目	92単位 A	薬理概論、看護概説Ⅰ・Ⅱ、体力測定・評価 各②			
		運動生理学、小児保健学、微生物・免疫学、予防医学、栄養生化学、学校保健演習、健康情報と医学、生涯健康論、介護概論 各② 健康運動指導実技(アクアビクス)・(エアロビクス)、健康運動指導実技(ジョギング・ウォーキング)、レクリエーションスポーツ実習Ⅰ 各① 運動生理学演習、体力測定・評価演習、海外の生涯教育、学習情報の収集と提供、企業内教育論、生涯学習社会論 各② 運動療法論、レクリエーションスポーツ論、健康相談(カウンセリング)、食物化学(食品学を含む)、臨床栄養学、看護学 各② 看護演習②、看護実習④ 環境健康医学、喫煙と健康、先端医療概論、長寿科学、学校看護学、メンタルヘルス 各② レクリエーションスポーツ実習Ⅱ ① 運動療法演習、レクリエーションスポーツ演習、社会心理学 各②			
専門展開科目	36単位以上 B	体育原理②			
		運動学(運動方法学を含む)、障がい者スポーツ論、スポーツ経営学、健康スポーツ情報論、スポーツ政策論、トレーニング科学論、バイオメカニクス 各② 体育実技(器械運動)・(水泳)・(ダンス)・(陸上競技) 各① 健康スポーツ心理学演習、トレーニング演習 各② スポーツイベント論、スポーツ指導方法論、スポーツ社会学 スポーツ文化論、スポーツマーケティング 各② 体育実技(剣道)・(サッカー)・(柔道)・(ソフトボール)・(テニス) 体育実技(バスケボール)・(バドミントン)・(バレーボール)・(ラグビー) 身体表現実技(エアロビクス)・(ダンス) 各① 健康運動指導演習、コーチング演習、障がい者スポーツ演習、健康スポーツ栄養学演習、 メディカルコンディショニング演習、トレーニングプログラミング演習、 リハビリテーション演習(スポーツ含む)、バイオメカニクス演習、 保健体育指導演習 各② 保健体育実践演習 ②			
言語聴覚科学科目	92単位 A	言語聴覚障害総論、口腔機能論(臨床歯科医学を含む) 各②			
		遺伝・画像診断学、臨床神経学、形成外科学、口腔外科学、音声・言語・聴覚医学Ⅰ(呼吸・発声・聴覚系の構造及び機能)、 音声・言語・聴覚医学Ⅱ(神経系の構造、機能及び病態)、臨床心理学、音声学、言語発達学、 音響学・聴覚心理学、言語聴覚障害診断学、失語症Ⅰ、言語発達障害学Ⅰ(評価)、構音障害Ⅰ(機能性構音障害)、 聴力検査、基礎演習Ⅰa、基礎演習Ⅰb 各② 耳鼻咽喉学、心理測定法、失語症Ⅱ、高次脳機能障害学、 言語発達障害学Ⅱ(訓練)、言語発達障害学Ⅲ(脳性麻痺・学習障害)、 音声障害、構音障害Ⅱ(器質性構音障害)、 発声発語障害学Ⅳ(運動障害性構音障害総論・各論)、嚥下障害学、 吃音、聴覚障害(小児聴覚障害・成人聴覚障害)、視覚聴覚二重障害、 補聴器・人工内耳、臨床評価学演習、嚥下障害学演習、総合臨床学、 応用演習Ⅰa・Ⅰb、応用演習Ⅱa・Ⅱb、基礎演習Ⅱ、高次脳機能障害学演習 各②			
専門総合科目	16単位以上	健康科学総合演習Ⅰ・Ⅱ 各②			
		専門セミナーⅠ・Ⅱ 各② 卒業論文⑧、臨床実習⑩(注3)			

※92単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。
 ※言語聴覚士受験資格取得のためには38単位以上が必要です。
 (注3)言語聴覚士受験資格取得のためには必修です。

卒業要件に算入されない科目

分野	単位	1年次	2年次	3年次	4年次
自由選択科目	卒業要件に算入しない	キャリア・デザイン②			
		サービスラーニング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学A・B・C・D 各② 長期インターンシップ④			
認定心理士資格取得関連科目		基礎実験演習Ⅰ・Ⅱ(心理学実験Ⅰ・Ⅱ) 各②			
		認知心理学b、発達心理学b 各②			

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ
科目ナンバリング

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

カリキュラム概要

健康栄養学科の卒業要件単位について

卒業するためには「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たすことが必要です。

教養教育科目 24 単位	+	専門教育科目 80 単位	+	グレーゾーン 24 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・**○**は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目 (24 単位)

分野	卒業要件(24単位)		1年次	2年次	3年次	4年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	12単位	6単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②			
			法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②			
			化学Ⅰ、生物学Ⅰ、情報科学Ⅰ 各②			
			数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、情報科学Ⅱ 各②			
主題系	18単位	6単位	情報科学Ⅲ・Ⅳ 各②			
			仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ 各②			
外国語科目 (注1)	6単位	2単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①			
			英語Ⅰc・Ⅱc 各①			
			ドイツ語Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各①			
			中国語Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各①			
			フランス語Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各①			
			韓国語Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各①			
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①			
合計	24単位	※ 「教養教育科目」において、24単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 (注1) 外国人留学生の外国語科目の履修はP.82参照				

グレーゾーン (24 単位)

要件単位	24単位	1年次	2年次	3年次	4年次
		英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各①			
英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各①					
ドイツ語 中国語 フランス語 韓国語					
Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①					
スペイン語Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各①					
スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各①					
海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①					
・「教養教育科目」の要件 24 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 80 単位を超えて修得した科目の単位					
「他学部・他学科科目」で修得した単位 (24 単位まで修得可)					

自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択科目	卒業要件に算入しない	1年次	2年次	3年次	4年次
		キャリア・デザイン②		サービスラーニング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学A・B・C・D 各②	
		長期インターンシップ④			

I 大学で学ぶために

II 授業・試験・成績

III 履修関連事項

IV カリキュラム

V 諸資格の取得

VI カリキュラムマップ
科目ナンバリング

VII 諸規則

VIII 教室見取図

カリキュラム概要

専門教育科目 (80単位)

分野	卒業要件 (80単位)	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	社会・環境と健康	4単位 健康管理概論②	健康心理学②	公衆衛生学② 医療福祉概論②	公衆衛生学実習①
	人体の構造と機能、 疾病の成り立ち	10単位 人体構造学② 生体機能学② 生化学総論② 健康スポーツ医学②	人体構造機能学実験① 生化学各論② 生化学基礎実験① 生化学応用実験① 病理学② 生活習慣病論② 病原微生物学② 医科学Ⅰ(代謝・栄養系等)②	医科学Ⅱ(消化器系等)② 薬理概論②	医科学Ⅲ(その他の疾患)②
	食べ物と健康	13単位 食品成分学② 食品機能評価法② 調理学② 調理科学実験① 基礎調理実習① 応用調理実習①	食品機能化学② 食品安全管理学② 食品安全学実験① 食品基礎分析実験法①	食品健康科学論② 食品応用分析実験法①	
専門基礎科目	基礎栄養学	3単位 基礎栄養学②	栄養学実験① 栄養生理学②		
	応用栄養学	5単位	応用栄養学② 母子栄養学② 加齢栄養学②	スポーツ栄養学② 応用栄養学実習①	
	栄養教育論	5単位 栄養教育論②	栄養教育実習① 栄養カウンセリング論② 健康・栄養情報演習① 健康行動科学②	栄養教育各論②	
	臨床栄養学	5単位	臨床栄養学総論② 臨床栄養学各論②	分子栄養学② 栄養アセスメント論② 口腔機能論演習② 臨床栄養学実習① 運動療法論② 栄養ケアマネジメント論② 臨床栄養管理実験①	介護概論演習②
	公衆栄養学	2単位	食事調査演習① 公衆栄養学②	公衆栄養活動論② 環境健康医学②	公衆栄養学実習①
	給食経営管理論	4単位	給食経営管理論② フードサービス論②	給食経営管理基礎実習① 給食経営管理応用実習① フードマーケティング論②	
専門発展科目	総合演習	1単位 健康栄養科学入門①		臨地実習事前事後演習①	健康管理総合演習① 管理栄養士総合基礎演習① 管理栄養士総合応用・臨床演習①
	臨地実習	1単位		臨地実習Ⅰ(校外実習を含む)① 臨地実習Ⅱ②(注2) 臨地実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ①(注2)	
	総合科目	6単位	管理栄養士海外研修②	心身科学特論②	健康栄養学特論① 健康栄養総合演習② 卒業研究③
	管理栄養士 関連科目		有機化学② 分析化学②		管理栄養士セミナー②
合計	80単位	※80単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。 (注2)管理栄養士は必修科目です。(Ⅲ・Ⅳ・Ⅴのいずれか1科目を選択)			

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ
科目ナンバリング

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

カリキュラム概要

心理学科の卒業要件単位について

卒業するためには「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・○は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目 (36 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ各②			
教養基幹科目	20単位 (注1)	4単位	教養セミナーⅠ・Ⅱ各①		教養セミナーⅢ・Ⅳ各①	
			哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ各②			
			法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ各②			
			数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ、情報科学Ⅰ・Ⅱ各②		情報科学Ⅲ・Ⅳ各②	
			仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、 人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、 日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、 ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、 人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学各②			
外国語科目 (注2)	10単位	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb各①			
		2単位	英語Ⅰc・Ⅱc各①			
		2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ各① (1言語を選択)			
文化事情	2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情各② (1科目を選択)				
健康総合 科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ各①			
合計	36単位	(注1) 「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 (注2) 外国人留学生の外国語科目の履修はP.41参照				

グレーゾーン (16 単位)

分野	要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
特別支援 教育に関 する科目 (注3)	16単位	障害者教育史、知的障害者の心理・生理・病理、知的障害者教育論、 病弱者の心理・生理・病理、肢体不自由者教育論、病弱者教育論、 視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、 重複障害・軽度発達障害教育総論 各②			
グレーゾーン その他		英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現法Ⅰ・Ⅱ、英語読解法Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ各①			
		英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現法Ⅲ・Ⅳ、英語読解法Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ各①			
		ドイツ語 中国語 フランス語 韓国語 スペイン語 (注4)			
		Ⅰ (基礎)・Ⅱ (基礎) 各①			
		Ⅲ (読解)・Ⅳ (読解)、Ⅲ (表現)・Ⅳ (表現)、Ⅲ (総合)・Ⅳ (総合)、 会話Ⅰ・Ⅱ各①			
		スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ各①			
海外事情Ⅰ・Ⅱ各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ各①					
「教養教育科目」の「教養基幹科目」うち20単位を超えて修得した科目の単位 「専門教育科目」について、76単位を超えて修得した科目の単位、「単位互換」で修得した単位					
「他学部・他学科学科」で修得した単位 (24単位まで修得可) ※グレーゾーンの要件16単位を超えた場合は、8単位まで④「基幹・ 展開・卒業研究」に算入される。					

(注3) 教職課程受講登録者のみ履修可能。18単位のうち、16単位まで卒業要件に入れることができる。(注4) スペイン語はⅠ(基礎)・Ⅱ(基礎)のみ開講

Ⅰ 大学で学ぶために

Ⅱ 授業・試験・成績

Ⅲ 履修関連事項

Ⅳ カリキュラム

Ⅴ 諸資格の取得

Ⅵ カリキュラムマップ
科目ナンバリング

Ⅶ 諸規則

Ⅷ 教室見取図

カリキュラム概要

専門教育科目 (76 単位)

分野	要件単位 内訳		1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	20単位	講義科目	心理学概論Ⅰ・Ⅱ、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、認知心理学Ⅰ(知覚・認知心理学) 各②			
			発達心理学Ⅰ、人格心理学Ⅰ(感情・人格心理学)、社会心理学Ⅰ(社会・集団・家族心理学)、ストレスマネジメント入門 各②			
			心理学研究法 ②			
専門基幹科目	44単位 (A) 演習科目⑥の中から4単位以上を含むこと	講義科目	学習・言語心理学 ②			
			認知心理学Ⅱ、発達心理学Ⅱ、人格心理学Ⅱ、社会心理学Ⅱ、生理学Ⅰ(人体の構造と機能及び疾病)、生理学Ⅱ 各②			
			神経・生理心理学、生理心理学、心理学史、スポーツ心理学、ポジティブ心理学、カレントトピックスa・b・c・d・e・f 各②			
		演習科目⑥	調査法Ⅰ・Ⅱ 各②		ストレスマネジメント演習Ⅰ・Ⅱ 各②	
		その他	インターンシップ ②			
心理学実践 多文化・共生 情報・ビジネス	28単位 自専攻分野20単位以上を含むこと	講義科目	臨床心理学Ⅰ(臨床心理学概論)、多職種連携論、健康・医療心理学 各②			
			臨床心理学Ⅱ(心理学的支援法)、司法・犯罪心理学、精神疾患とその治療Ⅰ・Ⅱ、発展講義a・b 各②			
		科目⑥ 演習	心理検査演習Ⅰ・Ⅱ、面接法・介入法(心理的アセスメント)、人格・臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱ 各②			
		講義科目	文化心理学、障害者・障害児心理学、教育心理学Ⅰ(教育・学校心理学)、教育心理学Ⅱ、障害者教育総論、肢体不自由者の自立活動の理論と実際、肢体不自由者の心理・生理・病理、知的障害児指導法 各②			
			異文化理解、ケアマネジメント、発展講義c・d・e・f・g・h 各②			
		科目⑥ 演習	発達・教育心理学演習Ⅰ・Ⅱ、社会・産業心理学演習Ⅰ・Ⅱ 各②			
専門展開科目	4単位	講義科目	産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ、データサイエンス入門、感性工学、消費者行動論 各②			
			製品評価の心理学、多変量解析Ⅰ・Ⅱ、行動経済学、発展講義i・j 各②			
		科目⑥ 演習	実験心理学演習Ⅰ・Ⅱ、情報ビジネス心理学演習Ⅰ・Ⅱ、デジタルデザイン演習 各②			
専門総合科目	12単位	科目⑥ 演習	卒業研究 ⑥			
		演習科目	心理学実験Ⅰ・Ⅱ 各②			
			プレセミナー、総合研究演習Ⅰ 各②		総合研究演習Ⅱ・Ⅲ 各②	
合計	76単位		※76単位を超えて修得した単位は「グレーゾーン」に算入される。			

卒業要件に算入されない科目

分野	単位	1年次	2年次	3年次	4年次
公認心理師 専用科目	卒業要件に 算入しない		公認心理師の職責 ②	福祉心理学、関係行政論、心理演習 各② 心理実習Ⅰ ①	心理実習Ⅱ・Ⅲ 各①
		キャリア・デザイン ②			
自由選択 科目		サービスマネジメント演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、地域連携学A・B・C・D 各②			
		長期インターンシップ ④			

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ
科目ナンバリング

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

Ⅱ 授業科目配当表、科目担当者表

1. 授業科目配当表

部門	分野	授業科目名	学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年		必修 単位	選択 単位	卒業要件	
				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
教養基礎科目	宗 教 学	宗 教 学 I			2											2		4 単位修得すること。	
		宗 教 学 II			2											2			
	心 理 学	心 理 学 I			2											2		4 単位修得すること。	
		心 理 学 II			2											2			
	哲 学	哲 学 I	2														2		6 単位以上修得すること。
		哲 学 II	2														2		
	論 理 学	論 理 学 I	2														2		
		論 理 学 II	2														2		
	文 学	文 学 I	2														2		
		文 学 II	2														2		
	美 術 学	美 術 学 I	2														2		
		美 術 学 II	2														2		
	法 学	法 学 I	2														2		
		法 学 II	2														2		
	政 治 学	政 治 学 I	2														2		
		政 治 学 II	2														2		
	経 済 学	経 済 学 I	2														2		
		経 済 学 II	2														2		
	社 会 学	社 会 学 I	2														2		
		社 会 学 II	2														2		
	教 育 学	教 育 学 I	2														2		
		教 育 学 II	2														2		
	地 理 学	地 理 学 I	2														2		
		地 理 学 II	2														2		
	歴 史 学	歴 史 学 I	2														2		
		歴 史 学 II	2														2		
	教養教育科目		化 学 の 基 礎	2														2	
			ドイ ツ 語 I (基 礎)	1														1	
ドイ ツ 語 II (基 礎)			1														1		
中 国 語 I (基 礎)			1														1		
中 国 語 II (基 礎)			1														1		
フ ラ ン ス 語 I (基 礎)			1														1		
フ ラ ン ス 語 II (基 礎)			1														1		
物 理 学 I			2														2		
歯科基礎科学科目		物 理 学 II	2													2		6 単位修得すること。	
		物 理 学 III	2													2			
		物 理 学	2													2			
		化 学 I	2													2		6 単位修得すること。	
		化 学 II	2													2			
		化 学 実 習	1													1			
		化 学 演 習	1													1			
		生 物 学 I	2													2		8 単位修得すること。	
		生 物 学 II	2													2			
		生 物 学 実 習	2													2			
生 物 学 の 基 礎	2													2					
情 報 統 計 学 I	2													2		4 単位修得すること。			
情 報 統 計 学 II	2													2					
外国語科目		英 語 I a	1													1		6 単位修得すること。	
		英 語 I b	1													1			
		英 語 II a	1													1			
		英 語 II b	1													1			
		英 会 話 I	1													1			
英 会 話 II	1													1					
健康増進科目		ス ポ ー ツ 科 学 I	1													1		2 単位修得すること。	
		ス ポ ー ツ 科 学 II	1													1			
卒業要件															40	6	46 単位		

部門	授業科目名	開講学年	自由 単位
自由選択科目	海 外 事 情 I・II	1～6	各2
	海 外 事 情 III・IV	1～6	各1
	サ ー ビ ス ラ ー ニ ン グ 実 習 I～IV	1～6	各1
	課 題 解 決 型 演 習 I～IV	1～6	各2
	長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ	2～6	4
	地 域 連 携 学 A～D	1～6	各2
	自由選択科目の単位は卒業に必要な単位数に算入されない。		

部門	学年	授業科目名						必修 単位	卒業要件
		1年 春 秋	2年 春 秋	3年 春 秋	4年 春 秋	5年 春 秋	6年 春 秋		
専門 教育 科目	歯学入門セミナーⅠ	1						1	165 単位修得すること
	歯学入門セミナーⅡ	1						1	
	歯学入門セミナーⅢ	1						1	
	歯学入門セミナーⅣ		1					1	
	歯学入門セミナーⅤ		1					1	
	情報の科学	1						1	
	歯の構造		1					1	
	実習：歯の構造		1					1	
	細胞の構造と機能			1 1				2	
	実習：細胞の構造と機能			1 2				3	
	人体の構造			2				2	
	実習：人体の構造			5				5	
	人体の機能			2 1.5				3.5	
	実習：人体の機能			1 0.5				1.5	
	生命の分子の基盤			2 1.5				3.5	
	実習：生命の分子の基盤			1 0.5				1.5	
	歯科基礎科学			1				1	
	生体材料・歯科材料			1 2				3	
	実習：生体材料・歯科材料			2				2	
	社会と歯学Ⅰ			1				1	
	実習：歯冠形成			1				1	
	臨床医学（外科）1			1				1	
	病因・病態・診断				2 2			4	
	実習：病因・病態・診断				2 2			4	
	感染と免疫				2 1			3	
	実習：感染と免疫				2			2	
	生体と薬物				2 1			3	
	実習：生体と薬物				2			2	
	社会と歯学Ⅱ			1 1				2	
	硬組織疾患の病態と治療			1 1				2	
	実習：硬組織疾患の病態と治療				2			2	
	医療コミュニケーション学			1				1	
	臨床歯科補綴学				1			1	
	冠・橋義歯補綴			1				1	
	実習：冠・橋義歯補綴			2				2	
	放射線・画像診断学（画像検査）1				1			1	
	臨床医学（内科）				1 1			2	
	臨床医学（外科）2				1			1	
	口腔・顎顔面領域の疾患Ⅰ-1				1			1	
	口腔・顎顔面領域の疾患Ⅱ-1				1			1	
	顎顔面部の成長発育と不正咬合				1			1	
	小児の歯科治療（1）				1			1	
	社会と歯学Ⅲ					1		1	
	実習：社会と歯学					2		2	
	歯髓組織の常態と疾患				1 1			2	
	実習：歯髓組織の常態と疾患				2			2	
	歯周組織疾患の病態と治療				1 1			2	
	実習：歯周組織疾患の診断と治療				2			2	
	部分欠損補綴				1			1	
	実習：部分欠損補綴				2			2	
顎顔面補綴					1		1		
全部欠損補綴				1			1		
実習：全部欠損補綴				2			2		
高齢者・在宅歯科治療				1 1			2		
インプラント歯科学				1			1		
実習：インプラント歯科学				1			1		
口腔・顎顔面領域の疾患Ⅰ-2				1			1		
口腔・顎顔面領域の疾患Ⅱ-2				1			1		
実習：口腔・顎顔面領域の疾患				1 1			1		
不正咬合の診断と治療				1			1		
実習：不正咬合の診断と治療				2			2		
小児の歯科治療（2）				1			1		
実習：小児の歯科治療				1			1		
障害者の歯科治療				1 1			1		
放射線・画像診断学（画像検査）2				1			1		
歯科麻酔					1		1		
臨床医学（小児科）				1			1		
臨床予備実習					3		3		
臨床実習・総合歯学・総合研修						13 13	7 11	44	
隣接臨床医学							3	3	
歯科法医学／歯科東洋医学／スポーツ歯学							1	1	
総合示説（基礎医学示説・臨床医学示説）							2	2	
実習：歯科臨床解剖学							2	2	
卒業要件	小計	4 4	17 14	17 20	17 20	13 13	15 11	165	165 単位

2. 科目担当者表

部門	分野	必修等	授業科目名	単位数	担当者名		
教養	教養基礎科目	○	宗教学	I・II	2・2	山端 信祐	
		○	心理学	I・II	2・2	白木 優悟	
			哲学	I	2	松野充貴	
			哲学	II	2	本年度開講せず	
			論理学	I	2	松野充貴	
			論理学	II	2	本年度開講せず	
			文学	I・II	2・2	佐々木 亜紀子	
			美術	I・II	2・2	本年度開講せず	
			法学	I・II	2・2	本年度開講せず	
			政治学	I・II	2・2	本年度開講せず	
			経済学	I・II	2・2	本年度開講せず	
			社会学	I	2	今井 隆太	
			社会学	II		本年度開講せず	
			教育学	I・II	2・2	内田 康弘	
		地理学	I・II	2・2	柴田 陽一		
		歴史学	I・II	2・2	本年度開講せず		
		化学の基礎		2	来住 準一		
				2	松永 諭		
		ドイツ語(基礎)	I・II	1・1	本年度開講せず		
		中国語(基礎)	I・II	1・1	本年度開講せず		
		フランス語(基礎)	I・II	1・1	本年度開講せず		
	教育科目	歯科基礎科学科目	○	物理学	I・II・III	2・2・2	有馬 義康
			○	化学	I	2	松永 諭
			○	化学	II	2	松永 諭
			○	化学実習		1	来住 準一
			○	化学実習		1	松永 諭
			○	化学演習		1	来住 準一
○			生物学	I	2	池田 健	
○			生物学	II	2	浅原 正和	
○			生物学実習		2	池田 健	
○		生物学の基礎		2	浅原 正和		
○		情報統計学	I・II	2・2	神垣 あかね		
○		英語	I a・II a	1・1	池田 健		
外国語科目		○	英語	I b・II b	1・1	佐部利 真吾	
	○	英語	I・II	1・1	香ノ木 隆臣		
	○	英会話	I・II	1・1	近藤 浩		
健康総合科学科目	○	スポーツ科学	I・II	1・1	鷲嶽 正道		
					菅井 大地		

必修等の記号…○印=必修科目

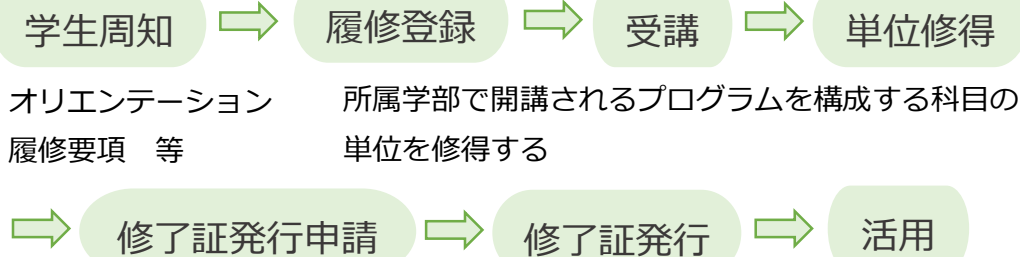
部門	授業科目名	単位数	担当者名	開講学年
自由選択科目	海外事情 I・II	各2		1～6
	海外事情 III・IV	各1		1～6
	サービスラーニング実習 I～IV	各1		1～6
	課題解決型演習 I～IV	各2		1～6
	長期インターンシップ	4		2～6
	地域連携学 A～D	各2		1～6

「愛知学院大学データサイエンス教育プログラム」 取組概要

プログラムの目的

全学部全学生を対象に数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それらを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成する。

概要



サポート体制

- ・必修科目等との重複開講を防ぐなど、時間割編成の工夫により、多くの学生が受講できるように対応
- ・授業内での質疑応答のほか、オフィスアワーやメール等授業時間外での相談・指導等の体制を整備
- ・プログラム修了者へのアンケートをもとに改善点等を検討し、プログラムの充実を図る
(担当部署：教務課・名城公園キャンパス事務室・歯学部事務室・薬学部事務室)

身につけることができる能力

- ①数理・データサイエンス・AIを実社会で使いこなすことができる基礎的な素養を身につける。
- ②それらの知識・技能をもとに、自らの適切な判断・意思によりAI等の恩恵を享受し、これらを説明・活用できる思考力・判断力を身につける。

プログラムを構成する科目

学部	科目名	学部	科目名	学部	科目名
文学部	情報科学Ⅰ	経営学部	ビジネス情報リテラシーⅠ	歯学部	情報の科学
法学部	情報科学Ⅱ		ビジネス情報リテラシーⅡ		歯科基礎科学
健康科学部	情報科学Ⅲ		経営情報論		社会と歯学Ⅰ
心理学部	情報科学Ⅳ		ICTビジネス		社会と歯学Ⅱ
商学部	情報リテラシーA		経営統計Ⅰ		社会と歯学Ⅲ
	情報リテラシーB		経営統計Ⅱ	実習：社会と歯学	
	情報社会論	情報リテラシーA	薬学部	基礎薬学演習Ⅰ	
	データ分析Ⅰ	情報リテラシーB		情報処理演習	
情報セキュリティ	経済情報論A	製剤工学			
		情報リテラシーⅡ		医薬品情報学	
		総合政策学部	データ分析Ⅰ		

運営組織

「愛知学院大学データサイエンス教育プログラム委員会」において、プログラムの運営を行う。また、学生の履修状況やアンケートより、プログラムの改善や自己点検・評価等を行う。